

社会福祉法人 京都視覚障害者支援センター

平成24年度 事業報告書

【目 次】

I. 法人概況	1
一 概要	1
二 事業計画の重点に対する達成評価	4
II. 各部門別報告	5
A. 法人事務局	5
B. 点字出版施設「紫野点字社」	8
C. 盲人ホーム美鈴	10
D. 京都盲人三療技術指導所	11
E. 失明者巡回生活指導員派遣事業	13
F. 障害者支援施設「洛西寮」	15
1. 洛西寮事務局	15
2. 生活支援部	17
ア. 施設入所支援（夜間支援）	17
イ. 生活介護（生産活動型）	19
ウ. 生活介護（生活支援）	22
（1）日常生活支援	22
（2）食事の提供	25
（3）健康管理	26
エ. 自治活動支援	27
（1）洛友会	27
（2）美化係	28
III. 主催行事	29
1. 第27回紫野文化展 洛西寮夏まつり	29
2. 第27回紫野福祉センター研修旅行	30
3. 西京区視覚障害者支援ボランティア養成講習会	31
IV. 共催事業	32
1. 第46回白杖安全デー	32
2. 第38回あい・らぶ・ふえあ（視覚障害者福祉啓発事業）	32
3. 第30回記念 視覚障害者京都マラソン大会	33

I. 法人概況

一 概要

① 法人を取り巻く社会福祉の情勢

社会福祉制度を取り巻く国の動きは、年末の政権交代で大きく動揺し、来る平成25年度から「障害者総合支援法」の施行に向け、歩み出すこととなった。当初、平成25年8月に予定されていた新法制定の動きは大幅に後退し、本年度から3年後の施行となった。とりわけ現在の福祉サービスを規定する「障害程度区分」の見直し時期も見送られ、新たな「障害支援区分」への移行が待たれるところである。また、京都府・市等、各自治体でも「障害福祉計画」の見直し時期にあたり、福祉サービスへのきめ細かな対策の拡充が求められる。

② 法人にとっての特筆すべき事項

本法人にとっては、法人名称の変更、就労継続支援A型事業所「らくさい治療院」の新築オープンと三療指導所の閉鎖、生活介護と就労継続支援B型との分割に向けた準備等、これまでにない特異な1年となった。

法人結成以来京都市北区紫野の誕生地に由来する「紫野福祉センター」という法人名称は、所在地や事業内容を名称に反映すべきだという視点から、評議員会、理事会の議決を経て、「京都視覚障害者支援センター」へと変更され、平成24年12月27日、登記手続きを完了した。引き続き、京都における視覚障害者支援の1拠点として新たな段階への飛躍を決意するものである。

前年度に結成された「らくさい治療院建設委員会」は、都合15回を開催し、設計、施工プロポーザル方式での建設計画を推進し、5月設計業者選定、7月国庫補助金決定、8月施工業者選定、10月地鎮祭、11月～2月末建設工事着工と比較的順調に計画が運んだ。その結果、3月27日に竣工式を挙行し、京都市をはじめ、関係施設・機関のご臨席を得て盛大な船出をすることができた。新設された「らくさい治療院」は、この間35年余の間、京都市の補助事業として新林と福西の2ヶ所での治療院運営の実績を受け継ぐものであり、その伝統と歴史を継承する社会的使命と責任を担って移転・開業することができた。

③ 障害者支援施設「洛西寮」の事業拡充

本年度は、「生活支援部」が、生活介護と施設入所支援の2事業所を運営した。サービス管理責任者による個別支援計画、給付費請求実務などを軌道に乗せる一方で、生活介護と就労継続支援B型とに分離する作業に着手した。

生活介護は生産活動型として運営し、下請けと京都市市民しんぶん等の受託を中心に実績を上げた。しかし、作業時間の短縮や余暇、生活支援を最優先する利用者の増大など、ニーズの異なる利用者の存在が顕在化する傾向が増している。

施設入所支援は、夜間、土・日、祝祭日に加えてお盆・年末年始の長期休暇中の生活の場として全利用者の半数近くが利用した。

年間利用状況では、入所30名で新規利用者のニーズに応じられない現状に対し、通所は年度末時点で11名、定員割れ状態を継続している。利用者の特徴は、高齢比率が上昇し、進路先である盲養護老人ホームなどへの待機やそのための手続きが徐々に増えている。

販売先の開拓では、京都市が勧める「はあと・フレンズ・ストア」や近隣の洛西支所での販売コーナーへの出店など、新しい動きも出てきているが、本法人が新たにB型事業所を立ち上げるにあたっては、より一層自主製品の開発・研究、営業活動の展開等、発想の転換による新しい事業展開が不可欠となる。

施設内の環境整備では、利用者休憩室の改善、食堂内テレビ設置、厨房設備改善などが進んだ反面、浴室給湯器の故障などから、利用者の入浴サービスが不可能となり、洛西ふれあいの里等にお世話になることで急場を凌ぐことができた。

年度末の3月26日、京都市の事業所指定実地査察を経て、障害者支援施設「洛西寮」は、生活介護「ちくりん」と就労継続支援B型「らくさい作業所」に事業区分し、夜間の入所施設支援「洛西寮」と共に一体的に運営されることとなった。

④法人が直面する課題への取り組み

財政課題集中討議を目指す取り組みにおいては、諸経費の削減、業務委託費の見直し、調理材料費の適正化などについて検討したが、際立った改善を見るまでには到らなかった。しかし、職員人件費の部分で、年間2回の一時金の支給率の引き下げ等、他の同一施設水準に向けた見直しが具体化された。今後は現段階の法人・施設財政上の客観的な「経営診断」を経て、健全財政を目指す取り組みの強化が課題となっている。

人事面では、4月に、府巡回相談員（歩行訓練士兼任）及び、欠員の栄養士として管理栄養士を採用することができた。また、事務員と看護師2名の女子職員の産休・育休代替職員の補充など、利用者サービスを低下させないよう、人員確保に努めた。

夜間支援を担う宿直員の世代交代時期にあたり、二人の女性担当者を含めて若返りを図ることができた。

美鈴、らくさい治療院、らくさい作業所の3部署においては、受付及び、工賃向上担当職員として、3名の嘱託職員を受け入れ、嘱託給与の一元化を実現すると共に、新しい事業展開に向けた体制整備を図った。

安心・安全対策、とりわけ、夜間及び土・日祝祭日の洛西寮における人員配置は支援員1対利用者30名となっている。法制度的には容認されているものの、現場の実態を見る限り、危うい支援体制であることには違いない。今年度末には、インフルエンザA型が集団発生し、自宅待期者を除けば、全寮生の半数以上が罹患した。急性期の利用者を一般居室から切り離して療養させる静養室がないこと、投薬や検温、居室配食などの人出がないこと、急な症状の変化に対応するための通院介助者がいないことなどから、結果的には流行の鎮静化が図られるまでの約1週間余りを中心に、支援員複数体制を臨時の措置として実施した。今後に向け、人員配置、財政措置等避けて通れない課題である。

⑤生産額の状況

今年度の売上については、作業科目の中心となる「点字印刷作業」の市民しんぶん点字版発行部数の減少等で、前年比約8%の売上が減少した。今後においては、利用者の工賃アップを目指し、来年度より施行される「優先調達推進法」の下、行政等への受注開拓の働き掛けが必要である。

⑥盲人ホーム、三療指導所

盲人ホーム「美鈴」は、改築後5年目を迎えた。利用者の入れ替わりで技術、売上力が低下し、数年前の勢いに陰りが見られた。しかし、業務運営の効率化、接客研修、携わる治療家の技術水準の向上など、研修継続の努力の成果が実った。

京都盲人三療技術指導所は、1978年以来、34年余りにわたって地域の方々に利用されてきた。新林と福西の2ヶ所での開業、そこに働く視覚障害三療家の働く事業所は平成25年度からは新築した「らくさい治療院」へと移転する。その歴史の蓄積、地域に根差した34年余りにピリオドを打つこととなった。

⑦紫野点字社

京都市からの広報受託や当事者団体などからの受注を受けた。法人名称が年度末に変更したのに対し、紫野点字社はそのまま存続することとなり、かつての経過を名称に残すこととした。

⑧府巡回相談員派遣事業

京都府中途失明者巡回生活指導員派遣事業は、府内南部及び乙訓・京丹波地域と福知山、綾部、舞鶴等中丹地域に2名の職員を派遣して巡回相談にあたった。中でも、南部サテライトの取り組みでは、京田辺、宇治、長岡京をメインに月1回の割合で相談、情報・アクセス支援、交流会などを行い、参加した利用者から好評を博した。

4月からは、欠員の相談員を補充し、徐々にその実績を積み重ねただけに留まらず、関係施設、機関との連携も拡大し、特に京都ライトハウス「鳥居寮」との連携が密になった。とりわけ、京都府の巡回相談と歩行訓練の両事業の有機的連携を模索し、南部サテライト事業の推進に大きく貢献することができたことは特筆すべきであった。

⑨紫野福祉センター後援会

1年半近くの休止状態から目覚め、本年7月に事務局員を採用、旧医務室後に後援会事務所を立ち上げた。週2回（水曜、金曜、午前10時～午後4時）に開設し、理事会の復活、後援会企画担当者会議の開催、そして年度末にはらくさい治療院竣工記念行事の企画にまで到達した。

最後に、私たちは、制度が揺れ動くなかで、新たな段階へ踏み出した。本法人が創設以来願っていた理念でもある視覚障害者の働く場、働き続けられる事業所を目指しての本格的な前進が始まる。これまでの長い経過から見れば、「洛西寮」は、働く場であり、生涯暮らす場でもある。その中でより豊かに過ごし、地域と共に成長する環境を作っていく役割と使命が本法人には課せられている。その法人がこの地で法人創設32年目を迎える。今後に残された課題は、「新事業移行推進3ヵ年プラン」の最終課題―地域で共に暮らす環境整備の具体化「グループホームの建設」となった。これこそが地域で住まい、就労支援事業所で働くための基盤作りである。利用者のニーズの反映、法人の発展計画、そして地域で共に生きていくための環境づくりの目標を掲げて、役職員一堂が一丸となって共に、新たな峰を目指して前進して行きたい。

二 事業計画の重点に対する達成評価

前年度の評価方法に引き続き、今年度は各項目ごとに10点満点とし、3区分として数値化した。

A＝9点以上、

B＝6～8点、

C＝5点以下

として評価の目安とした。

①「事業推進3ヵ年プラン」の推進→B. 8点

＜説明 およそ第3段階目を残すのみとなった。＞

②事業移行に伴う事業運営規程類の整備→A. 9点

＜説明 移行に必要な定款類の整備完了。＞

③事業の活性化と情報発信→A. 9点

＜説明 情報誌、ボランティア講座、三療に対する後援会企画での宣伝等の成果。

＞

④利用者サービスの拡充→C. 6点

＜説明 自主的活動支援、生活支援については50%、成年後見制度の取り組みは未着手＞

⑤資質向上に向けた職員研修の拡充→C. 5点

＜説明 研修派遣はしたものの、報告・伝達が不十分、計画的実施ができていない。＞

⑥安全衛生対策の拡充→C. 4点

＜説明 緊急カルテの常備・点検活動がルーチン化されていない。安全防災年間計画が日常業務に位置付けられていない。＞

⑦対外的な諸団体との交流・連携促進→B. 8点

＜説明 南部サテライトが特筆すべき成果。施設・団体との協調は大きく改善されている。＞

⑧財政運営の健全化、効率化に向けた取り組み→C. 5点

＜説明 掲げた5項目中、成果に結びついた部分が少なく、方向付けができていない。＞

⑨後援会活動の活性化→C. 5点

＜説明 掲げた3項目中、理事会、企画担当者会議、事務局立ち上げなどが評価点。＞

得点

トータル A＝2項目 18点

B＝2項目 16点

C＝5項目 25点

評化率 $59/90 = 66\%$

年次比較

平成22年度 43.6%

平成23年度 59%

平成24年度 66%

Ⅱ．各部門別報告

A．法人事務局

一 概要

1．新事業体系移行における内部組織体制の見直し

2 事業部 1 事務局体制の組織作り

①就労・生活支援事業部（洛西寮）

②三療事業部（盲人ホーム美鈴・らくさい治療院）

③法人事務局

2．新事業体系の指定申請

①就労継続支援A型事業（らくさい治療院）の新規事業所指定申請

②障害者支援施設洛西寮の事業変更指定申請

・生活介護の定員変更（定員45名から25名に変更）

・就労継続支援B型事業の追加申請（定員20名）

3．定款等規程類の変更手続き

①法人名変更に伴う定款変更並びに登記申請

②新事業追加に伴う定款の目的変更登記

4．新会計基準の導入等

平成24年度より新会計基準を導入

公益事業（三療指導所会計）の廃止（平成25年3月31日）

二 成果

1．就労系事業（A型・B型事業）の新設に伴う組織作りの明確化

2．年度内の指定認可

3．定款ほか諸規則（就業規則・給与規定等）の整備

4．新会計基準対応会計ソフトの更新

三 課題

1．各事業部間の連絡調整

2．らくさい治療院の建物登記と基本財産への繰り入れ

3．育児休業規則の改正、給与規定（給与表の見直し）

4．洛西寮のサービス区分会計間の案分

四 実績

1. 会議の開催状況

①理事会

月	日	内 容	出席者数
5	23	平成23年度決算・事業報告についてほか	理事5名 監事1名
6	30	就労継続支援A型事業所建設における設計契約手続きについて	理事6名 監事2名
8	13	就労継続支援A型事業所建設の入札における施行業者の決定手続きについて	理事8名 監事2名
12	5	法人名の変更及び事業所名称について 定款・就業規則・経理規定の一部変更について 平成24年度補正予算について	理事7名 監事1名
3	25	平成25年度予算・事業計画についてほか	理事5名 監事2名

※9月は定例理事会開催なし

②評議員会

月	日	内 容	出席者数
5	19	平成23年度決算・事業報告についてほか	理事3名 評議員18名
6	30	就労継続支援A型事業所建設における設計契約手続きについて	理事3名 評議員14名
12	1	法人名の変更及び事業所名称について 定款・就業規則・経理規定の一部変更について 平成24年度補正予算について	理事3名 評議員14名
3	23	平成25年度予算・事業計画についてほか	理事3名 評議員13名

③監査会

月	日	内 容	出席者数
5	19	平成23年度事業及び会計監査について	理事1名 監事2名

④法人運営会議

月1回

⑤法人事務局会議

月1回

⑥建設委員会

月	日	内 容
4	11	建設業者による、プレゼンテーション（4業者）
5	9	A型治療所の施設整備と営業の論議
5	25	建設内容の協議 京都市への質問事項
6	5	京都市との協議報告
7	9	外部仕様・内部仕様を検討
7	20	設備・空調を検討
7	31	施術関係備品・内部仕様変更を検討

8	4	近隣説明会
8	21	待合室・受付・納戸仕様を検討
8	31	待合室・受付・納戸仕様変更、内装材を検討
9	14	水回り・電気設備を検討
9	26	水回り・電気設備・備品を検討
10	18	水回り・電気設備・備品を検討
11	21	外構・設備を確認
12	26	外構・看板を検討
1	25	看板・登記関係・竣工式を検討
2	7	建物見学・確認
2	28	カギ渡し
3	20	内覧会
3	27	入魂祭・竣工式

⑦新会計基準導入による会計処理の変更

平成24年度より新会計基準導入に伴い、会計処理がこれまでの会計区分である一般会計、授産会計、公益会計の3区分を、拠点区分ごとに会計処理をする形となった。

(旧会計基準区分)

○社会福祉事業

(1) 一般会計

法人本部会計、紫野点字社会計、美鈴寮会計、巡回指導員派遣事業会計

(2) 授産会計

洛西寮会計

○公益事業

(1) 公益会計

三療指導所会計

(新会計基準区分)

○社会福祉事業

(1) 洛西寮会計拠点区分

法人本部会計、洛西寮施設入所支援会計、洛西寮生活介護会計、
紫野点字社会計、巡回指導員派遣事業会計

(2) 美鈴会計拠点区分

美鈴会計

○公益事業

(1) 三療指導所会計拠点区分

三療指導所会計

※公益事業である三療指導所会計拠点区分（三療指導所会計）の事業が平成24年度終了に伴い、平成25年度は社会福祉事業区分の「洛西寮会計拠点区分」と「美鈴会計拠点区分」のみとなる。また平成25年度より、就労系の新事業（洛西寮就労継続支援B型事業会計・就労継続支援A型事業会計）がスタートするため、洛西寮会計拠点区分に2つのサービス区分会計が加わる。

2. 人事

- ① 採用 巡回生活指導員（１名）、洛西寮栄養士（１名）、洛西寮看護師（嘱託職員１名）
- ② 休職（産休代替、育児・介護休暇を含む）
洛西寮事務員（１名）、洛西寮看護師（１名）

3. 国庫補助金

就労継続支援Ａ型事業所「らくさい治療院」建設のための国庫補助金については、平成２３年度補助金申請、平成２４年７月２日内示決定された。
交付額は、３１，６００，０００円

4. 登記実務

- ①資産の変更登記
- ②法人名称変更登記
- ③定款変更登記

5. 契約（１００万円以上）、業務委託

- ①らくさい治療院設計契約 ２，０２２，３００円
（請負業者：京都パナホーム株式会社）
- ②らくさい治療院建設請負契約 ４７，００８，５００円
（請負業者：京都パナホーム株式会社）
- ③電動診察台売買契約 １，２０７，５００円
（納入業者：株式会社 三笑堂）

B. 点字出版施設「紫野点字社」

一 概要

今年度も、京都市からの点字印刷を中心に受注した。市民しんぶん・市会だより点字版は年間契約し、毎月安定した仕事量の確保ができた。その他、随意受注では選挙公報やマラソン交通規制などの市民しんぶん区版の挟み込みタブロイド紙、市政情報冊子の点字版を製作した。また、点字以外では、市民しんぶん拡大版・市会だより拡大版の宛名印刷、封入発送業務を年間契約で受注した。昨年度受注できた、市政ポスター封入発送業務は、残念ながら一般企業との入札価格競争に敗れて受注できなかった。

京都市以外では、社会福祉協議会や視覚障害者関係団体、ボランティアグループなどからの受注で、点字需要へ安価に提供できるように協力している。

二 成果

- ① 地域視覚障害者の活動を援助する点字印刷を迅速に安価に行えた
- ② 視覚障害者の不足しがちな情報を提供するための出版活動を推進

- ③ 洛西寮利用者の作業を確保し、安定した工賃配分と就労意欲を向上させた
- ④ 音訳版受注に対するデジタル録音化

三 課題

- ①市民しんぶん点字版のタイトな製作日程への対応と効率化
- ②市民しんぶん点字版の発行部数減少にともなう売上の減少
- ③洛西寮点字作業印刷能力と受注への調整
- ④京都市への入札における競争力のある価格の検討
- ④製版機の更新
- ⑤点訳システムのWindows対応

点字印刷などの状況 (単位、枚) (※ 発送：部)

月	製版	塩ビ版 印刷	亜鉛版 印刷	P C 製版	P C 印刷	点字 鋳、はき	点字 シール	発送	墨字 印刷	墨字 入力	用紙 加工
4	489	53,174	0	48	2,942	500	0	489	5,055	11	0
5	496	64,967	0	132	1,815	300	500	477	3,749	6	0
6	442	42,831	0	22	330	0	100	0	2,300	0	0
7	477	46,383	0	8	797	0	0	53	2,280	0	0
8	480	49,627	0	18	943	300	0	0	3,172	0	0
9	512	43,761	0	6	1,089	199	0	0	1,720	0	0
10	493	44,888	85	8	662	0	970	1	2,059	1	87
11	424	35,005	0	10	368	0	480	0	1,700	0	0
12	503	63,164	33,511	2	760	0	0	1,752	3,860	1	34,592
1	499	45,630	59,489	8	568	790	0	52	17,988	1	61,408
2	479	49,875	13,717	10	106	0	81	0	2,533	0	0
3	472	42,269	0	234	1,045	200	235	0	2,595	0	0
合計	5,766	581,574	106,802	506	11,425	2,289	2,366	2,824	49,011	20	96,087

※ 録音は、8月＝3本、9月＝6本、1月＝3本、計12本

過去5年間の年間実績比較 (単位、枚) (※ 発送：部)

年度	製版	印刷機 印刷	亜鉛版 印刷	P C 製版	P C 印刷	点字 鋳、はき	点字 シール	発送	墨字 印刷	墨字 入力	用紙 加工
20	5,552	661,360	-	878	13,103	1,238	3,480	2,100	29,219	24	-
21	5,505	763,371	-	635	10,374	290	3,481	2,137	38,384	26	-
22	5,794	669,636	100,144	651	8,264	1,250	2,485	2,997	30,630	35	107,159
23	5,717	603,922	84,185	697	13,200	946	2,317	5,568	33,294	38	87,219
24	5,766	581,574	106,802	506	11,425	2,289	2,366	2,824	49,011	20	96,087

C. 盲人ホーム美鈴

一 概要

1. 患者数の推移

今年度は年間患者数が4981人と、5000人を割ってしまう、大変厳しい年度になった。この要因として、

- 1 開所当時の利用者全員が終了したことによる患者離れ
- 2 女性施術者の治療院と定着したイメージがあったが、男性利用者3名入所による患者のとまどい
- 3 利用者の入れ替わりによる、スキルの二極化（経験者と未経験者）が発生した

鍼治療の患者数は目標の全患者数の20%には達成はできなかった。

この厳しさの中で、約5000人を確保できたことは従来から取り組んできた、施設内清掃の強化、整理・整頓の強化、カルテ・集計表のPC管理を確立、接客・電話対応の強化、治療技術の向上、傾聴の徹底、患者（顧客）との距離感の意識づけを徹底した結果である。

2. 職員、利用者の推移

事務担当職員の退職1名、利用者入所3名・退所者1名。
指導員1名（らくさい治療院へ移動）

3. 利用者の技術向上のための取り組み

- ① すべての利用者が自ら選んで外部で行われるセミナーに参加して実力を高めることを援助した。
- ② 利用者のスキルアップをテーマとしたマッサージの勉強会等を実施した。
- ③ 例年行っているコミュニケーション、実務能力、患者対応を高める指導を行った。

4. 研修支援

京都府視覚障害者協会の委託による、ヘルスキーパー派遣事業実技指導で参加者1名を受け入れた。

5. 地域イベントへの参加

- ① 紫野文化展（洛西寮夏まつり）にて無料奉仕マッサージを行い好評を得た。
- ② 船岡秋のスタンダードにて有料マッサージに参加。

二 成果

- ① 新規利用者が1年をかけて一定のマッサージスキルを身に付けた。
- ② 船岡秋のスタンダードにほぼ毎年参加が確定している。
- ③ 男性利用者の認知度が徐々に高まってきた。
- ④ 来年度につながる、トータルスキルが揃いつつある。

三 課題

改築から入所していたメンバーが入れ替わり、美鈴のステータスとなっていた女性中心の治療師が男女半々になる中で、これまでと同じ患者数を達成することが大きな課題。

四 実績

美鈴治療所の月別治療件数及び売上

(単位：件数)

月	治療件数	治療売上(円)	件数前年比(%)	売上前年比(%)
4	407	1,283,700	79.3	78.1
5	426	1,350,500	104.4	103.9
6	444	1,407,600	93.9	92.7
7	415	1,321,900	81.2	81.1
8	426	1,345,200	92.8	91.4
9	423	1,342,200	86.9	86.8
10	424	1,339,300	80.6	79.0
11	392	1,252,900	84.1	82.3
12	393	1,272,300	82.9	82.7
1	395	1,284,800	92.3	93.8
2	392	1,269,700	86.9	87.3
3	444	1,424,000	97.4	96.6
合計	4,981	15,894,100	88.1	87.5
昨年度100	88.1	87.5		

D. 京都盲人三療技術指導所

一 概要

1. 事業所利用者状況の推移

入所者・退所者いずれも1名であった。新林指導所4名、福西指導所3名の合計7名である。

2. 患者数の推移

指導所の患者数について、リビング新聞に広告チラシを折り込んで、洛西ニュータウン内および北側・桂坂の住宅に配布したが見るべき成果は上がらなかった。結果新林、福西いずれも前年度に比べて減少した。

3. 就労継続支援A型事業所建設の取り組みについて

三療関係事業所運営会議で事業運営方針や治療メニュー、施設設備を中心に検討し建設委員会に反映してきた。

二 成果

今年度も美鈴と共同して紫野文化展（洛西寮夏まつり）で無料マッサージを行い好評を得た。

三 課題

京都盲人三療技術指導所が三十有余年で築き上げた視覚障害三療家の研修と治療実績をらくさい治療院に発展的に継承することに尽きる

四 実績

1. 新林指導所の月別治療件数及び売上 (単位：件数)

月	治療件数	治療売上 (円)	件数前年比 (%)	売上前年比 (%)
4	200	657,500	87.0	86.6
5	200	656,000	92.6	92.3
6	223	728,400	98.2	97.5
7	233	764,900	109.4	109.1
8	225	737,000	99.1	98.6
9	209	685,200	105.0	104.7
10	198	647,400	90.8	90.3
11	177	581,100	84.3	84.2
12	194	639,700	93.3	93.5
1	181	594,300	91.4	91.4
2	182	597,100	85.4	85.6
3	139	455,200	59.4	59.3
合計	2,361	7,743,800	91.9	90.8
昨年度100	91.9	90.8	—	—

2. 福西指導所の月別治療件数及び売上 (単位：件数)

月	治療件数	治療売上 (円)	件数前年比 (%)	売上前年比 (%)
4	176	587,300	89.8	587,300
5	190	631,500	103.3	631,500
6	193	637,400	102.7	637,400
7	189	630,700	86.7	630,700
8	205	681,500	110.8	681,500
9	202	674,100	99.5	674,100
10	195	651,000	101.0	651,000
11	137	457,100	83.5	457,100
12	162	539,100	99.4	539,100
1	135	452,000	75.0	452,000
2	158	528,400	89.3	528,400
3	126	418,800	73.3	418,800

合計	2,068	6,888,900	93.0	6,888,900
昨年度100	93.0	93.4	—	—

E. 失明者巡回生活指導員派遣事業

一 概要

1. 今年度の特徴

今年度の巡回派遣事業を語る上で特筆すべき点は、従来からの訪問型相談事業に加え、定点型相談訓練事業（南部サテライト事業）を本格実施したことである。定点を設けることにより、相談や訓練を継続的に行い社会参加の場所を確保するというところに留まらず、同じ障害を持つ者相互の連携、巡回生活相談・訓練事業の啓発など、様々な機能を果たしている。

今年度の訪問相談事業は、対象者数125人・延派遣回数307回で、定点型相談の場において多くの対象者と継続的に関わりを持つことが訪問相談に代わる場として機能していることを考えると、前年度より広く対象者に相談支援が出来たと言える。定点型相談事業を始めたことで、市町村や視覚障害者団体との連携がより深まり、今まで情報が届きにくかった対象者にも情報が届くようになったことも大きな成果の一つと考えることができるだろう。今後、視覚障害者を対象者にした相談事業を展開する上で、様々なニーズに柔軟な対応をするためには、従来から行われている地域へのアウトリーチに加えて、定点へのアウトリーチという新しい支援の形を組み合わせることが、極めて効果的で必要性の高い事業と位置付けることができる。

2. 南部サテライト事業の取組

視覚障害者が利用しやすい地域の中で会場を設け、京都ライトハウス訪問訓練事業と共催し、京田辺、宇治、長岡京で毎月1回、八幡、精華でも不定期に、視覚障害に特化したニーズに対応した支援を4月より本格実施した。全会場で合計33回開催、延べ約300名の当事者が参加している。

内容は、相談支援・視覚リハ技術支援・情報提供支援・交流のためのサロン企画等で、専門性を活かした対応ができるだけでなく、当事者間のネットワーク作りや当事者自身が役割を持ち社会参加できる機会を提供するなど、様々な機能を果たしている。

3. 府内視覚相談会

京都府家庭支援総合センターと京都ライトハウス、京都視覚障害者支援センターが共催して実施している「府内視覚相談会」に相談員として参加した。その場では解決しないニーズを後日訪問して対応している。

福祉制度の周知不足を感じる中で相談会は市町村が果たすべき役割の一旦を担っていると思われる。

内容：個別相談・ロービジョン相談・視覚障害者用機器・盲導犬・眼科医の講演・視覚障害者の講演等

二 成果

① 補装具・日常生活用具・各種機器の紹介、活用方法についての支援

- ② 障害年金請求申請手続きの説明と情報提供支援
- ③ 失明後の障害受容相談支援
- ④ 福祉サービス、制度利用の情報提供
- ⑤ 福祉事業所との連携
- ⑥ 南部サテライト事業による総合的相談支援拠点の創設

三 課題

- ① 対象地域が広範囲であるため、配置されているスタッフでの巡回相談に限界がある。
- ② 府内6圏域に設置された地域障害者生活支援センター等との有機的な連携がとれるようなシステムづくりが必要。
- ③ 対象者の重度・重複・高齢化に伴い、巡回指導員だけでなく様々な関係諸機関との連絡調整が必要になり、一人の利用者に関わる相談時間が増大する傾向にある。
- ④ 障害者自立支援法の中核となる相談事業でありながら、京都府としての位置づけ、委託金の精算単価、職員配置、巡回相談用の車購入の支援など、新たな事業展開のための課題が山積している。
- ⑤ 京都府の委託事業であるところから、市町村窓口に対する本事業への周知と協力支援が必要。

四 実績

1. 過去5年間の相談件数比較（延回数）

20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
308	304	352	369	307

2. 南部サテライト活動状況

	実施回数	参加者数（延べ）
京田辺	11	105
宇治	12	101
長岡京	7	61
八幡	1	5
精華	1	10
散策(奈良へ)	1	11
計	33	293

3. 府内相談会実施状況

実施日	開催地	会場	時間
5月22日	宮津市	宮津市中央公民館	11:00～15:30
7月24日	亀岡市	亀岡市役所 市民ホール	10:30～15:30
9月25日	舞鶴市	西駅交流センター	11:00～15:30
11月20日	精華町	精華町役場	10:30～15:30
1月22日	宇治市	宇治市生涯学習センター	10:30～15:30

3月21日	長岡京市	長岡京市中央公民館	10：30～15：30
-------	------	-----------	-------------

4. 相談内容

心理更生	傾聴・共感により信頼関係を築き、ニーズの根底がどこにあるのかを把握していく。世の中から置き去りにされたような喪失感の中、視覚障害のことを理解し受け入れ寄り添ってくれる指導員の存在は大きい。心理的不安を緩和することを最優先に考える。家族関係や居住等の環境に働きかけるのも重要である。
感覚	視覚障害者用具の活用や日常の工夫など
生活	補装具や日常生活用具の活用・日常生活の工夫・眼疾患・年金・生活保護受給・ヘルプ事業利用など具体的なものである。
リハビリ訓練	更生訓練への働きかけや、京都ライトハウスの見学など。
その他	家族からの相談や働きかけ。関係機関との調整など。

F. 障害者支援施設「洛西寮」

1. 洛西寮事務局

一 概要

1. 新事業体系への移行

年度当初においては、就労継続B型事業所移行を平成25年1月に事業開始を予定していたが、就労継続支援A型事業所建設が遅れたため、平成25年度よりスタートすることとなった。

- ①施設入所支援、定員30名（夜間支援）
- ②生活介護（生産活動型）、定員45名（日中活動支援）

2. 補助金による施設整備等

- ①平成24年度福祉施設人材確保・サービス向上補助金（京都市）：1,350千円
施設整備借入金元金一部返済及び看護職員の産休・育児休業取得のための代替職員人件費
- ②京都市民間社会福祉施設整備利子補給金（京都市）：80千円
施設整備借入金返済利子に対する補助金

3. 機関誌「^{らくさい}楽西」の発行・ホームページの更新

機関誌「楽西」については年2回（7月と1月）、各事業所の状況や施設行事の報告、製品の紹介、利用者の様子等、編集委員で検討し発行した。

ホームページについては、行事の案内、機関誌「楽西」、後援会の掲示等更新をした。

二 成果

新事業移行手続の完全実施

三 課題

新事業移行にともなう職員研修の実施

四 実績

1. 入所者の状況

		入所者			通所者			総計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
異動	24年3月31日現在	19	11	30	8	5	13	27	16	43
	入所	0	1	1	1	0	1	1	1	2
	退所	1	0	1	3	0	3	4	0	4
	25年3月31日現在	18	12	30	6	5	11	24	17	41
退所の理由	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家庭復帰	0	0	0	1	0	1	1	0	1
	他の施設へ	0	0	0	1	0	1	1	0	1
	老人施設へ	1	0	0	0	0	0	1	0	1
	病気のため	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	1	0	1	1	0	1
年齢	10代	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	20代	2	1	3	1	1	2	2	2	4
	30代	2	2	4	2	0	2	5	1	6
	40代	5	3	8	2	3	5	7	6	13
	50代	5	2	7	1	0	1	7	2	9
	60代	3	3	6	0	0	0	3	4	7
	70歳以上	1	1	2	0	1	1	2	1	3
平均	25年3月31日現在	49.9	50.2	50.0	41.0	45.6	43.3	45.5	47.9	46.7
出身地	京都市	3	2	5	4	4	8	7	6	13
	京都府下	3	0	3	2	1	3	5	1	6
	兵庫県	7	0	7	0	0	0	7	0	7
	大阪府	5	4	9	0	0	0	5	4	9
	その他	0	6	6	0	0	0	0	6	6
区分認定	区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分5	4	2	6	0	1	1	4	3	7
	区分4	9	3	12	0	3	3	9	6	15
	区分3	5	4	9	5	1	6	10	5	15
	区分2以下	0	3	3	2	0	2	2	3	5
在所期間	15年以上	11	2	13	2	2	4	13	4	17
	10年～15年未満	1	0	1	0	2	2	1	2	3
	5年～10年未満	2	6	8	0	0	0	2	6	8
	3年～5年未満	2	0	2	2	1	3	4	1	5
	1年～3年未満	2	3	5	1	0	1	3	3	6
	1年未満	0	1	1	1	0	1	1	1	2

2. 月別入所状況

月	入所者				小計	通所者				小計	合計
	入所		退所			入所		退所			
	男	女	男	女		男	女	男	女		
昨年度末	19	11	0	0	30	8	5	0	0	13	43
4	0	0	0	0	30	0	0	1	0	12	42
5	0	0	0	0	30	0	0	0	0	12	42
6	0	0	0	0	30	0	0	0	0	12	42
7	0	0	0	0	30	0	0	1	0	11	41
8	0	0	0	0	30	0	0	0	0	11	41
9	0	0	0	0	30	0	0	0	0	11	41
10	0	0	0	0	30	1	0	0	0	12	42
11	0	0	0	0	30	0	0	0	0	12	42
12	0	0	0	0	30	0	0	0	0	12	42
1	0	0	1	0	29	0	0	0	0	12	41
2	0	1	0	0	30	0	0	0	0	12	42
3	0	0	0	0	30	0	0	1	0	11	41
合計	0	1	1	0	2	1	0	3	0	4	—
年度末	18	12	—	—	30	6	5	—	—	11	41

3. 各種行事一覧

月	日	内 容	場 所
5	15	レクレーション ソーセージ作り	伊賀の里モクモク手づくりファーム
7	20	第27回紫野文化展（洛西寮夏まつり）	洛西寮
7	6	七夕会	洛西寮
9	20-21	第27回紫野研修旅行	静岡方面
9	30	第46回白杖安全デー	市役所前
12	7	洛友会主催 クリスマス会	洛西寮
1	18	新年会	洛西寮
1	11～15	あい・らぶ・ふえあ視覚障害者福祉啓発事業	大丸京都店
3	3	第30回視覚障害者京都マラソン大会	西京区総合運動公園陸上競技場

2. 生活支援部

一昨年10月、授産施設から「障害者支援施設 洛西寮」に変更し、生活介護支援（日中活動支援）、施設入所支援（夜間支援）へと移行し、入所者の生活支援に力点をおいた福祉サービスを行ってきた。

ア. 施設入所支援（夜間支援）

一 概要

1. 施設入所（夜間支援）における安心・安全な生活環境整備による業務体制見直

- し、緊急用個別カルテの整備。
2. 施設入所支援における利用者サービスの拡充を目指した。
3. 施設入所（夜間支援）生活の把握に伴う生活支援員の宿直研修実施

二 成果

1. 生活支援員の宿直研修実施により、利用者のインフルエンザ発症時の緊急時対応、2名での宿直補充体制が実行できた。
2. 休日及び長期休暇等における寮生活支援面での拡充が図られた。

三 課題

1. 夜間支援における安心・安全な生活環境整備、寮生活上の生活の質の向上に向けた具体的プログラムの支援拡充。
2. 宿日直支援員に対する業務連絡体制及び緊急時対応の強化。
3. 土曜・日曜及び夜間想定の方災訓練の継続実施。

四 実績

土日等日中活動サービス状況

実施日	サービス支援内容	利用者 人数	職員人数	実施場所
6. 9	卓球バレー	8	2	洛西寮
9. 30	ふれあいの里秋祭り	1	1	洛西ふれあいの里
10. 27	新林まつりバザー販売他	5	1	新林小学校
10. 28	防災訓練（西京社協）	4	1	桂坂小学校
11. 10	洛西ふれあいフェスティバルバザー販売	1	1	洛西中学校
11. 23	情報機器説明会	17	3	洛西寮
11. 24	楽祭INらくさいバザー販売	2	1	ラクセーヌ周辺
12. 29	新聞朗読・茶話会	5	1	洛西寮
12. 30	茶話会	10	1	洛西寮
12. 31	新聞朗読・茶話会	5	1	洛西寮
1. 1	初詣	6	1	大原野神社
1. 3	ゲーム（すごろく）	5	1	洛西寮
1. 4	茶話会	10	1	洛西寮
1. 12	あいらぶふえあ販売要員	1	1	大丸京都店
1. 13	あいらぶふえあ販売要員	1	1	大丸京都店
1. 14	あいらぶふえあ販売要員	1	1	大丸京都店
2. 9	ふれあい茶話会とカラオケ大会	11	1	洛西寮
2. 23	さふらん保育園バザー販売	1	1	さふらん保育園

3.3	第30回視覚障害者 マラソン大会	9	2	西京極総合運動公園
-----	---------------------	---	---	-----------

イ．生活介護（生産活動型）

一 概要

個々の支援計画に基づき、作業技術の向上、より品質の高い製品作り、生産力アップ等を目指し、点字印刷と下請け（紙器加工、縫製作業）の2作業部門で行なった。

二 成果

1. 点字印刷においては、利用者の育成・ボランティアの活用による作業能率が向上した。
2. 下請け作業においては、偏った作業ではなく、箱作業、ミシン作業、数珠作業などの色々な作業を、利用者が取り組むことが出来た。
3. 新事業移行に伴う利用者聴き取り・作業仕分け・説明等取り組んだ。

三 課題

1. 就労継続支援B型事業開設に伴う、就労支援内容の拡充
2. 利用者の自主性を育てる職場づくり
3. 就労支援方法等の職員研修

四 実績

1. 生産活動作業科目一覧

点字印刷	点字製作・発送：市民しんぶん（全市版・区版）・市会だより・ 部局情報誌・盲導犬情報・点字毎日「弁論大会弁論集」等 封入発送作業：市民しんぶん拡大版、魅力シリーズ
ミシン縫製	下 請：ムラタ（和装用袋）、TERRA（袋物、袋詰） 自主製品：給食袋・体操服入れ・白杖入れ・手提げ袋等
箱作業	京菓子箱：八つ橋・ようかん
数珠加工	数珠玉通し
黒豆茶	ティーパックの袋詰め作業

2. 点字印刷 月別生産状況

（単位：枚）

月	市民しんぶん （拡大版）		市民ニュース ポスター		魅力ポスター			市政総合 アンケート	点字 発送
	全市版	区版	箱あり	箱なし	箱あり	箱なし	その他		
4	358	355	0	0	0	0	0	0	455
5	357	354 (353)	0	0	0	0	0	0	459 (217)
6	356	354	0	0	0	0	0	0	457

7	356	354 (353)	0	0	0	0	0	0	453 (215)
8	356	354	0	0	0	0	0	0	450
9	355	353	0	0	0	0	0	0	448
10	352	350	0	0	518	251	203	0	446
11	351	350	0	0	0	0	0	0	445
12	346	345 (344)	0	0	0	0	0	0	445 (210)
1	345	344	0	0	0	0	0	0	445
2	345	343 (342)	0	0	0	0	0	0	444 (210)
3	343	342	0	0	522	250	208	0	443
計	4,220	4,198 (1,392)	0	0	1,040	501	411	0	5,390 (852)

() は市会だより部数

3. ミシン縫製 月別売上状況

() は ほっとはあとセンター (単位：枚、黒豆茶は単位：パック)

	給食袋	給食セット	靴入れ	体操服入れ	ビーズ製品	手提げ袋	ティッシュケース	ナップサック	腕カバー	巾着袋	入浴袋	買い物袋	白杖入れ	その他	合計	黒豆茶
4	0	0	10	10	0	0	0	10	12	0	0	0	0	0	42	24 (4)
5	0	0	9	9	0	0	0	0	10	0	12	0	30	0	70	83 (12)
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	7	31 (1)
7	0	16	26	30	17	6	26	0	10	2	11	0	31	0	175	64 (15)
8	0	0	11	11	0	0	0	0	0	0	15	0	0	26	63	65 (28)
9	0	10	1	7	56	2	49	0	0	0	0	6	30	1	162	24 (4)
10	0	4	26	28	29	0	25	0	0	0	27	2	0	11	152	57 (1)
11	0	4	0	3	28	2	54	0	0	3	9	2	0	7	112	52 (24)
12	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	34	42 (9)
1	1	22	2	6	2	2	34	0	66	4	0	9	8	0	156	19 (5)
2	0	141	28	65	8	52	16	0	1	2	10	0	30	0	353	57 (5)
3	0	63	14	23	0	8	0	0	0	0	5	0	0	32	145	35 (5)
合計	1	260	129	194	140	72	204	10	99	11	96	19	159	77	1471	553 (113)

黒豆茶 () は、ほっとはあとセンター売上

4. 箱作業 月別生産状況

(単位：枚)

月	北村紙器			パックス・サワダ			
	あん生	その他 (八つ橋)	合計	夢丸	番舞	その他	合計
4	70,000	0	70,000	1,800	0	0	1,800
5	70,000	0	70,000	1,860	10,725	0	12,585

6	30,000	0	30,000	2,800	0	0	2,800
7	20,000	0	20,000	0	0	0	0
8	40,000	0	40,000	0	0	0	0
9	30,000	0	30,000	0	0	0	0
10	40,000	0	40,000	0	0	0	0
11	100,000	0	100,000	1,600	10,775	0	12,375
12	20,000	0	20,000	2,480	1,000	0	3,480
1	20,000	0	20,000	0	9,700	0	9,700
2	30,000	0	30,000	0	0	0	0
3	30,000	0	30,000	0	0	0	0
計	500,000	0	500,000	10,540	32,200	0	42,740

5. バザー一覧表

月	日	名称	会場	売上(円)
7	8	たかせ保育園バザー	たかせ保育園	25,990
7	21	第27回紫野文化展	洛西寮	37,800
9	8	桂徳児童館バザー	桂徳児童館	14,550
9	30	洛西ふれあいの里秋まつり	洛西ふれあいの里	10,250
10	27	新林まつりバザー	新林小学校	11,100
11	17	西京区民ふれあいまつり	ラクセーヌ周辺一帯	8,490
11	10	洛西ふれあいフェスティバルバザー	洛西中学校	7,850
11	24	楽祭inらくさいバザー	ラクセーヌ周辺一帯	15,000
1	11-14	あい・らぶ・ふえあ 視覚障害者福祉啓発事業	大丸京都店	68,100
2	18	つわぶき園バザー	つわぶき園	59,800
2	21	上里竹の子保育園バザー	上里竹の子保育園	12,150
2	23	さふらん保育園バザー	さふらん保育園	22,000
2	27	福西保育園バザー	福西保育園	38,150
3	5	檜原ふじ保育園バザー	檜原ふじ保育園	21,300
3	6	大原野保育園バザー	大原野保育園	25,400
3	14	新林保育園バザー	新林保育園	13,300
合 計			16件	391,230

6. 各部門別売上状況

生産活動売上高

今年度の総売上高は、昨年度より約8%減の約13,054千円と若干の落ち込みとなった。この原因として、

1. 「市民しんぶん拡大版」発送契約が入札できなかったこと
 2. 点字印刷部数減少等により点字作業の売上が減少したこと
 3. 点字印刷作業関連の必要経費を売上げの中からあげたこと
- 以上3つの原因が考えられる。

(単位：円)

	自主製品	下請	黒豆	点字	合計
受注	184,280	0	412,944	0	597,224
バザー	391,230	0	9,750	0	400,980

下請	0	1,796,866	0	10,258,981	12,055,847
総売上高	575,510	1,796,866	422,694	10,258,981	13,054,051

7. 工賃比較表（過去5年間）

年間延べ労働日数と売上高の推移

年度	人数 (人)	年間延 労働日数 (日)	年間 労働日 (日)	平均従 事日数 (日)	売上総額 (円)	一人当 月売上 (円)	一人当 年間売上 (円)	工賃総額 (円)	一人当 月工賃 (円)	一人当 年間工賃 (円)
20	38.6	8,198	242	212.0	19,029,677	41,012	492,146	19,175,038	41,325	495,906
21	39.4	8,420	232	213.7	20,399,338	43,145	517,750	17,823,700	37,698	452,378
22	36.3	8,521	234	207.8	17,853,926	40,987	491,844	17,345,283	39,819	477,831
23	37.7	8,691	230	206.9	14,184,621	31,311	375,732	12,749,467	28,181	338,182
24	38.3	8,902	232	222.5	13,054,051	28,403	340,837	12,149,380	26,434	317,216

ウ. 生活介護（生活支援）

（1）日常生活支援

一 概要

1. 利用者一人ひとりの個別支援計画を作成し、個別プログラムに基づき、基本的な日常生活上の支援・個別支援等を行った。
2. 歩行訓練士による歩行訓練の再開
3. 創作・娯楽・健康（スポーツ系、リハビリ系）等、生活の質を高めるための、レクリエーションを定期的に行った。

二 成果

1. 個別支援計画に基づき、65歳以上の利用者に対し、今後の進路について、本人・家族との相談支援を行い、老人ホーム希望者の申請手続き・老人ホーム移行へと実現した。
2. 利用者一人一人の要望に応じた歩行訓練を行い、単独歩行の範囲が広がり、生活の質の向上に繋がった。
3. レクリエーションプログラムの定期的な実施に伴い参加への選択が保障され、又、外部講師の支援により、音楽については、行事（夏まつり・クリスマス会等）での合唱発表の機会を設け実施することが出来た。

三 課題

個別支援計画に基づいた生活の質を高める支援内容の拡充。

四 実績

実績については、以下の通りである。

①歩行訓練

一 概要

利用者一人一人の要望に応じ、個々のニーズ・歩行技術に併せ実施した

1. 白杖基本操作獲得・道路などの環境構造理解・状況把握
2. 寮周辺店舗までのファミリアリゼーション
3. 店舗などでの実践を想定した社会性訓練
4. 寮館内のファミリアリゼーション等日常の生活上に関わる歩行訓練を行った。

二 成果

1. 寮周辺の薬局やスーパー、寮内の移動や自宅からの寮までの通所ルートの確立（信号横断等）など22名の歩行訓練を実施し、日常生活の行動範囲がひろがった
2. 実習生19名に対して13回、小・中学生8名にたいして2回、視覚障害の理解と手引き歩行についての講習を行い、視覚障害に対する理解を深めるきっかけとなった。

三 課題

利用者個々に対して訓練機会の疎密を考慮した上で、より効果的な訓練の実施。

②レクリエーション活動

創作・娯楽・健康（スポーツ系・リハビリ）等、定期的にレクリエーション活動を行った。

実施日	項目	実施内容	参加人数	実施場所
4.18	音楽	合唱（ふるさと、花、山賊の歌）	19	4階ホール
5.16	音楽	合唱（ふるさと、山賊の歌、こいのぼり、茶摘み）	18	4階ホール
6.20	音楽	合唱（山賊の歌、こいのぼり、茶摘み）	41	4階ホール
6.21	健康	ヨーガ教室	18	4階ホール
7.18	音楽	合唱（山賊の歌、こいのぼり、茶摘み、花）	39	4階ホール
9.19	音楽	合唱（見上げてごらん夜の星を、小さな木の実）	20	4階ホール
10.17	健康	人間すごろく	20	4階ホール
10.17	娯楽	喫茶店	11	ロイヤルホスト
10.17	創作	カボチャとサツマイモのごま団子メープルバター 添え作り	4	食堂
10.24	音楽	合唱（証城寺の狸囃子、里の秋、汽車）	20	4階ホール
11.14	健康	ヨーガ教室	15	4階ホール
11.20	娯楽	カラオケ	12	あそびば
11.20	健康	散策	18	竹林公園
11.28	音楽	合唱（証城寺の狸囃子、見上げてごらん夜の星を、 ジングルベル、もろびとこぞりて、きよしこの夜）	39	4階ホール
1.23	音楽	合唱（雪、汽車、銀色の道）	18	4階ホール
1.24	健康	初詣	12	松尾大社
1.24	健康	卓球バレー	18	4階ホール
2.27	音楽	合唱（雪、汽車、銀色の道）	19	4階ホール

3.6	健康	体力測定	40	4階ホール
3.27	音楽	合唱（雪、汽車、銀色の道）	22	4階ホール

③選択科目

利用者の社会性を少しでも高める事を課題として、毎週金曜日に選択科目を実施した。

健康と調理	利用者4名	担当：山内・河村		
	内容	健康・栄養に関する勉強会・材料の買い物・調理実習		
	指導方法	学習、実習内容は利用者の希望に添った内容とした。全員が調理の過程に関われるように支援を行った。材料費は月ごとに集金した。		
	効果及び課題	学習会は「熱中症、感染症予防」「旬の食材と栄養価」「おせち料理の由来」などの内容で6回。調理実習はよもぎ団子・豆腐ドーナツなど19回。買い物は6回実施した。今後は慢性疾患のある利用者が参加される為、実習内容を検討していく必要がある。調理器具を揃え実習の円滑化を図る。		
体操	利用者13名	担当：井上・後藤・木下・橋本・西垣		
	内容	①準備体操、ストレッチ体操、筋力体操、整理体操 ②球技 ③散策		
	指導方法	天候の良い日や手引きでの行動が可能な際は、寮周辺の散策に出掛けた。屋内では、4階ホールで準備体操やストレッチ、球技などを行った。筋力運動、腹筋や腕立て伏せなども行った。		
	効果及び課題	担当職員数が少なく、屋内中心の活動が多かった。参加者も多く、手引きに欠け、散策のできない日が今年も多かった。年齢や体力の差もみられるため、個々に合った体操を見いだしていくことが今後課題となる。		
点字	利用者5名	担当：ボランティア5名		
	内容	点字の読み書き練習		
	指導方法	マンツーマンで指導し、受講者の能力に応じて学習を進めた。		
	効果及び課題	基礎学習・本の読み合わせ・読み打つ等、個々に応じた内容で無理なく楽しく出来るように行ってきた。週1回の学習ではあるが継続していく中で徐々に成果が見られるようになった。今後も継続していく中で日常的な点字の使用につながるような内容を進めていきたい。		
社会	利用者5名	担当：ボランティア1名		
	内容	テーマにそっての情報提供（新聞記事等）		
	指導方法	全員に発言の機会を設け、楽しみながら行った。		
	効果及び課題	主に新聞などからテーマを選び楽しく講義を進めた。日常的なニュースなど身近な問題を取りあげ、利用者の興味あるものをテーマにし、意見等を聞ききながら行った。時には、実習生に入ってもらい、楽しく話をする機会を設けたながら、充実した時間を過ごした。		
ハンドクラフト	利用者3名	担当：竹中		
	内容	使えるモノを創り上げる。		
	指導方法	自分達の作りたい物を上げ、参加者で総合的に判断し決定し、材料の準備・購入から完成までの過程を楽しみ行う。		
	効果及び課題	年度初めに皆で話し合い、日常で使えるものを目指し計画を立てて取り組んできた。昨年度、人気があったTシャツ・長袖Tシャツ染めに興味を示し今年度の選択科目を選んだ方もおられ、その他には紙粘土での入れ物作り、組紐アクセサリー作り等に取り組んだ。		

		法人の研修旅行時には製作した組紐アクセサリーを着けての参加、日常生活でTシャツ・長袖Tシャツを着用できた。
--	--	---

④散髪サービス

月1回の訪問による散髪サービスの提供

月	男性	女性	利用人数	月	男性	女性	利用人数
4	5	3	8	10	2	4	6
5	2	2	4	11	3	1	4
6	3	2	5	12	7	5	12
7	3	2	5	1	0	0	0
8	3	3	6	2	4	3	7
9	2	1	3	3	2	2	4

※延人数：男性 36 人、女性 28 人、合計 64 人

⑤買い物支援サービス

毎月洛西近隣とイオン向日町店への買物介助サービスの提供

月	近所	イオン	月	近所	イオン
4	3	2	10	6	2
5	5	1	11	3	4
6	8	0	12	5	2
7	6	3	1	5	5
8	7	2	2	6	1
9	3	5	3	5	0

※延人数：近所 62 人、イオン向日町店 27 人

⑥その他

洗濯物の整理整頓・衣類の整理・居室の整理整頓、金銭管理など実施

(2) 食事の提供

一 概要

1. 嗜好調査結果より、利用者のニーズに合わせた献立作成に努めた。
2. 調理場の清掃、調理器具の使い分け、害虫駆除、検便等の衛生管理に努めた。
3. 保存食の徹底（-20℃以下・2週間）。
4. 医師の指示に従った療養食の提供と、検診結果にもとづく栄養指導。

二 成果

1. 食中毒や感染症に罹患する利用者がなく、安定した食事提供ができた。
2. 食品納入業者6社と新規契約し、価格の見直しと、栄養士業務の効率化を図った。

三 課題

1. 事業移行により、昼食が作業所別の時間差提供となり、厨房内の配膳台、備品の設置が急務（配膳棚 25～30 食分・保温炊飯器など）。

2. 管理栄養士による食事指導。看護師、就労・生活支援事業部による、欠食対策などへの支援。
3. 「栄養ケアマネジメント」の導入。支援員による食事介助（見守り）の必要性。
4. 嗜好調査、検食簿への記入など、日常的な点検活動。

四 実績

行事食の年間一覧

開所記念日（4/20）	赤飯、本鰯の味噌焼き、菊花大根、若竹煮、あさり吸物、いちご
子供の日（5/5）	うなぎちらし寿司、もやしの和え物、吸物、りんご
七夕（7/7）	五目ちらし寿司、冬瓜の海老あんかけ、吸物、オレンジ
クリスマス（12/25）	米飯、ローストチキン、シーフードサラダ、コンソメスープ、パイン
お正月（1/1～1/3）	おせち料理、お雑煮、ホットプレート大会、ちゃんこ鍋、天ぷら、鰯の味噌漬け、ポークピカタなど
節分（2/1）	恵方巻き、鰯の蒲焼き、白菜と春菊の浸し、さつまいもの甘煮、赤だし、節分福豆
ひなまつり（3/1）	菜の花散らし寿司、水菜と豚肉の辛子和え、吸物、いちご、ひなあられ

（3）健康管理

一 概要

1. 利用者個々の目標やニーズ、課題に即した支援計画の実践。
2. 単独通院が困難な利用者や急病の利用者に対して、通院介助及び、入院時の支援を行なった。

二 成果

救急時の「個人別救急用カルテ」が完成した。

三 課題

インフルエンザ等の流行に備えた静養室の準備。
救急時の「個人別救急用カルテ」の活用。

四 実績

1. 利用者の健康診断等の実施状況

期日	実施内容	対象者	人数	実施者等	実施場所
毎月1回	嘱託医健診	希望者（8・2月は全員） マラソン出場希望者	180	洛西寮嘱託医	洛西寮医務室
	寮内健診	全員	478	洛西寮看護師	洛西寮医務室
4月	胃癌検診	40才以上	4	京都がん協会	洛西保健所
	大腸癌検診	40才以上	9	京都がん協会	洛西保健所
6月	歯科健診	希望者	6	京都府歯科医師会	洛西寮医務室
8月	基本健診	全員	39	京都工場保健会	洛西寮
4月、12月	子宮癌検診	20才以上女子	2	医療機関	洛西NT病院
12月	眼科健診	希望者	9	医療機関	洛西NT病院
4月、12月	乳癌検診	30才以上女子	2	医療機関	洛西NT病院

2. 健診結果とその後の状況

月日	健診	対象	受検者	異常なし	指示	所見あり	精検後異常なし	精検後異常あり	経過観察
4. 5	子宮がん検診	20歳以上女性	1	1	0	0	0	0	0
4. 5	乳がん検診	30歳以上女性	1	1	0	0	0	0	0
4. 12	胃がん検診	40歳以上	4	3	1	1	1	1	1
4. 12	大腸がん検診	40歳以上	9	8	1	1	1	0	0
6. 7	歯科健診	希望者	6	3	3	3	0	3	0
7. 4～25	耳鼻科検診	希望者	27	27	0	0	0	0	0
8. 1	基本健診	全員	39	13	3	24	3	0	21
12. 13	子宮がん検診	20歳以上女性	1	1	0	0	0	0	0
12. 13	乳がん検診	30歳以上女性	1	1	0	0	0	0	0
1. 9～29	耳鼻科検診	希望者	23	21	2	2	0	2	

3. 予防接種

月日	予防接種	対象	接種人数	実施場所
11. 13	インフルエンザ予防接種	希望者	22	洛西寮医務室

4. 利用者の学習会の状況

月日	学習会	対象	参加者	講師	実施場所
6. 7	歯磨き指導	希望者	6	歯科衛生士	洛西寮会議室

5. 通院件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
40	45	72	105	66	53	63	40	65	66	42	59	716

エ. 自治活動支援

(1) 洛友会

一 概要

1. 昨年度のメンバーが全員そのまま引き継いだ形でスタートした。
2. 2年目の経験を活かして、皆が楽しめる企画を工夫・提案した。
3. 5月施設との合同企画「伊賀の里モクモク手づくりファーム」、7月紫野文化展洛西寮夏まつりでの「模擬店」出店、ボランティアとの交流会「七夕会」「クリスマス会」、洛友会主催（利用者のみ）による意見交換会を実施した。

二 成果

1. 洛友会主催による利用者のみの意見交換会を実施し、普段なかなか聞けない意見を集めることが出来た。
2. 夏まつりにてお菓子のつかみ取りを企画。非常に好評で大いに盛り上がった。

3. 男性の入浴方法の変更。

三 課題

1. リーダーシップをとる利用者が少なく経験も乏しいため、支援員の指導・助言の比重が増している。
2. 会としての成長を促進するための、役員の育成支援が必要。
3. 会に対する利用者の意識づけ。

四 実績

1. 意見交換会の実施。
2. 七夕会・クリスマス会等での洛友会企画による催し物の実施。
3. 夏まつりでの模擬店の出店。

(2) 美化係

一 概要

1. 週2回のゴミ収集・手洗い石鹸の補充・掃除用具の点検・古紙回収。
2. 毎週金曜日の館内清掃の各階の点検。

二 成果

職員の協力を得て、責任をもって館内美化活動を行うことができた。

三 課題

1. 年度当初、メンバーを募集するが集まらないため、職員の働きかけが必要であった。
2. 館内清掃時の人員不足。

四 実績

1. 各階のゴミ集めとゴミ出し。
2. 雑巾の回収と洗濯。

Ⅲ. 主催行事

1. 第27回紫野文化展 洛西寮夏まつり

一 概要

開催日時：平成24年7月21日（土） 午前11時～午後3時

会場：障害者支援施設・洛西寮

内容

①イベントコーナー

洛友会の合唱、和太鼓いちばん星の和太鼓演奏、京大落研の落語寄席、馬のおっちゃん・山下泰三氏の歌とトークショー、激団モンゴイカのバンド演奏

②模擬店

焼きそば、たこ焼き、かき氷、おつまみ類、ジュース、生ビール、ポン菓子
実演販売、遊び等

③無料マッサージ体験・鍼体験

④洛西寮自主製品販売

⑤視覚障害者啓蒙コーナー

点字体験、拡大読書器の紹介

二 成果

多くの子供たちの来場とイベントの盛り上がりで、賑やかな夏祭りとなった。

後援会ブースを設けたことで、本法人の事業についての理解をより深めていただく機会となった。

来場者：400名

協力ボランティア：56名（登録31、学生5、みやび20）

三 課題

職員・利用者の意識付け継続

継続した学生ボランティアの確保

広報活動

ちらしの配布方法

近所の方への周知（特に近隣の方）の継続

ボランティアへの事前の連絡や当日の説明（特に手引きボランティアへの説明）

手引きボランティアの運営の仕方

駐車場の借用

来場者アンケートの実施検討

当日のプログラム配布方法

開催時期の検討

スペースの有効活用

四 実績

後援：京都新聞社会福祉事業団、京都市住宅供給公社洛西事業部、
京都府視覚障害者協会、京都市社会福祉協議会
協力：みやびワイズメンズクラブ、京都保育福祉専門学院

2. 第27回紫野福祉センター研修旅行

一 概要

開催日時：平成24年9月20日（木）～21日（金）

行 先：静岡県焼津方面

内 容

1日目：オレンジパーク（メロン狩り）、えびせん共和国（えびせん試食）

2日目：お茶の郷（お茶ティーパック詰め放題）、大井川鉄道（蒸気機関車乗車体験）、焼津さかなセンター

宿 泊 先：焼津グランドホテル

二 成果

1. 全員参加を追求した結果、今年は81名の大人数での旅行となった。
2. 毎年恒例になりつつある食べ物の試食や体験、蒸気機関車体験も好評だった。
3. ボランティア養成講習会の成果が実って、新規ボランティアの方々の参加協力も多く得られた。

三 課題

1. ボランティア支援者の選考については、十分な支援技術及び、利用者の理解に基づいた養成を条件とする必要性がある。
2. 当日の急病などによる施設待機体制の準備が必要。

四 実績

過去5年間の旅行参加人数（利用者、職員、ボランティア）

年度	行先	利用者	職員	ボランティア	合計
20	伊勢・鳥羽	34人	15人	7人	57人
21	南信州	41人	20人	9人	70人
22	南知多	45人	24人	10人	79人
23	淡路島	50人	22人	13人	85人
24	焼津	45人	20人	16人	81人

3. 西京区視覚障害者支援ボランティア養成講習会

一 概要

開催日時：平成24年5月30日（水）・6月2日（土） 10時～16時
（オプション・6月6日（水） 14時～17時）

会場：障害者支援施設 洛西寮 会議室

内容：視覚障害について、弱視体験、アイマスクでの昼食、手引講習など
（オプション：点字・朗読、利用者との近所の買い物）

参加者数 13名（洛西寮ボランティア登録者数9名）

1. 西京区社会福祉協議会、京都府視覚障害者協会西京支部との共催で開催した結果、参加者・講習内容、外部講師及び、関係ボランティアサークル等の協力支援が広く得られた。
2. 共催3者で実行委員会を組織し、企画から宣伝、当日の運営まで共同して実施することができた。

二 成果

1. 洛西寮でのボランティア講習会の第2回が開催できた。
2. 新規ボランティア登録者9名を迎え、その後の利用者サービスなどにおいて、大きな改善が見られた。
3. 西京区社会福祉協議会が共催に加わって下さったことにより、広範な宣伝と補助金による運営支援を受けることができた。

三 課題

1. 養成後の施設側の再講習及び、支援技術向上に向けた学習の場づくり
2. ボランティアコーディネーターの育成と日常の支援前後の相談・支援の体制づくり
3. 養成講習会の継続

四 実績

ボランティア活動実績

月	作業			朗読			点字			手引き			行事			合計		
	延人数	件数	延時間数	延人数	件数	延時間数	延人数	件数	延時間数	延人数	件数	延時間数	延人数	件数	延時間数	延人数	件数	延時間数
4	39	39	97	35	8	120	7	2	7	9	9	21.2	0	0	0	90	58	245.2
5	36	36	88	36	5	116.5	16	4	21	6	6	18.4	13	1	104	107	52	347.9
6	0	0	0	40	9	147.5	19	5	19	26	26	133.1	0	0	0	85	40	299.6
7	0	0	0	61	12	170.5	8	2	8	14	14	54.6	55	2	224	138	30	457.1
8	0	0	0	41	8	143.75	16	4	16	5	5	8.8	0	0	0	62	17	168.55
9	0	0	0	32	8	118	12	3	12	13	13	25.7	32	1	256	89	25	411.7
10	0	0	0	37	8	175.5	10	3	10	19	19	63.8	0	0	0	66	30	249.3
11	0	0	0	40	7	144	12	3	12	22	22	103.1	0	0	0	74	32	259.1
12	0	0	0	42	8	120.5	8	2	8	5	5	17.5	19	1	38	74	16	184

1	0	0	0	52	10	144.5	6	2	6	6	6	20.8	24	1	72	88	19	243.3
2	0	0	0	27	7	101	16	5	16	11	11	34.0	0	0	0	54	23	151
3	20	20	49	30	7	112	8	2	8	9	9	29.5	0	0	0	67	38	198.5
計	95	95	234	473	97	1613.75	138	37	143	145	145	530.5	143	6	694	994	380	3215.25

※上記の数字は「ボランティア活動日誌」に基づくものです。

ボランティア登録者数 58 名（平成25年3月31日現在）

IV. 共催事業

1. 第46回白杖安全デー

一 概要

開催日：平成24年9月30日（日）

会 場：京都市役所広場

内 容：テーマ「白杖見たら声かけて ～何かお手伝いしましょうか？～」

啓蒙活動（集会・台風接近のためパレードは中止）

参加者：220名

二 成果

1. 視覚障害者からの現状のメッセージ
2. 啓発ポスター配布、掲示（各公共交通機関・金融機関・行政等）

2. 第38回あい・らぶ・ふえあ（視覚障害者福祉啓発事業）

開催期間：平成25年1月11日（金）～14日（月）

会 場：大丸京都店 6階イベントホール

内 容：

- ① 絵画コンテスト：小学生を対象にした絵画73枚を展示。
- ② 体験コーナー：台所、リビング、仕事部屋、野外体験、白杖体験、弱視体験
手引き、手引かれ、ブラインド喫茶、等
- ③ 販売コーナー：関西盲導犬協会、FSトモニ、洛西寮
- ④ 視覚障害者ボランティア連絡会の展示コーナー
- ⑤各催し：お箏の演奏、クイックマッサージ、研究発表、講演など

参 加 者：2,491人（4日間）

3. 第30回記念 視覚障害者京都マラソン大会

一 概要

- ・開催日：平成25年3月3日（日）
- ・会場：京都市西京極総合運動公園及び周辺道路
- ・参加者：9名（洛西寮）

二 成果

初参加2名含む参加者全員が完走

三 課題

1. 練習時の手引不足（職員の高齢化等）
2. 天候不順による練習不足

四 実績

洛西寮利用者の順位

- ・3Km男子弱視の部：26位
- ・3Km男子全盲の部：10位・16位・20位・21位

- ・1Km女子弱視の部：5位
- ・1Km男子全盲の部：7位
- ・1Km女子全盲の部：5位・6位

<参考資料>

法人役職員数

理事	評議員	監事
9名	19名	2名

法人職員数

部署名	職 員	嘱託職員	臨時職員	合 計
事務局	3(兼任者1)	1	1(兼任者1)	5名
生活支援部	9(兼任者1)	1	1	11名
	<注> 生活支援部には、看護師、栄養士を含む。			
調理員	0	0	5	5名
施設入所支援の生活支援員	0	0	5	5名
洛西寮小計	12	2	12	26名
紫野点字社	2(兼任者2)	0	1(兼任者1)	3名(兼任者3)
失明者巡回生活指導員派遣事業	1(兼任者1)	0	1	2名
三寮指導所	0	1(兼任者1)	1	2名
盲人ホーム美鈴	1	1(兼任者1)	1	3名
法人合計	14	3	15	32名